

平成29年（2017年） 第12回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成29年12月21日（木） 午後2時30分～午後4時00分

2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	秋田 久子
教育委員	江原 礼子	教育委員	川崎かおり
教育委員	川畑 徹朗		

<事務局>

教育次長	二宮 叔枝	保健体育課長	増田 健一
学校教育部長	村上 順一	小学校給食センター所長	鴨川 憲之
生涯学習部長	山中 茂	中学校給食センター所長	長澤 利文
教育長付参事	柳田 尊正	社会教育課長	中畔明日香
教育長付参事	谷澤 伸二	公民館長	池田 真美
学校教育部参事	佐藤 幸宏	博物館長	亀田 浩
総合教育センター所長	後藤 猛虎	少年愛護センター所長	河崎 信良
人権教育室長	佐藤 文裕	図書館副主幹	岡田 宣隆
職員課長	植松 俊二	職員課主査	福本 恭
施設課長	宮木 哲男	職員課主査	中村 太郎
学校指導課長	廣重久美子	教育総務課長	池田 昌弘
学事課長	大村 寿一	教育総務課主査	高田 幸美
総合教育センター主幹	尾崎 眞弓	教育総務課	寺内 みこ

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 なし

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長（午後2時30分）

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 平成29年第11回定例会会議録及び第7回臨時会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

(3) 平成29年第11回定例会会議録及び第7回臨時会会議録の承認（日程第1）

平成29年第11回伊丹市教育委員会定例会（平成29年11月16日〈木〉開催）会議録

及び第7回臨時会会議録（平成29年12月16日〈土〉）については、全委員一致でこれを了承。

（4）教育長報告（日程第2）

管理部長より「12月分人事報告」・「11月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「11月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の、幼児教育施策推進班長より幼児教育施策推進班の11月分行事実施報告」・「11月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員 教育トークで参加者から聞かれたことに関して2点質問させていただく。12ページの学校指導課の1月行事実施予定について。9日（火）に開催される小学校英語教育に関する特別講演会に中学校の先生は参加されるか。これまでの研修での参加状況は。

村上部長 案内はしているが、3学期が始まってすぐということもあり参加は難しいかもしれない。

総合教育センターの1階で、ケーブルテレビに取材いただいた映像を流している。小中連携、保護者理解を得ること、市民への啓発のどれも大切だと考えている。

江原委員 ありがとうございます。教育トークで中学校の先生方から不安の声をお聞きした。中学校での学習につながることも視野に入れて、連携を深めていただきたい。

37ページの幼児教育施策推進班の11月行事実施報告について。29日（水）に開催された第2回伊丹市幼児教育カリキュラムワーキングチーム会議について。幼児教育のビジョンとカリキュラムに関して教育トークのグループ討議で質問が出ていた。我々教育委員会は、本市の幼児教育の質の一層の向上を目指して、公私立幼稚園、保育所等の充実について継続的に協議をしてきたが、参加者からは公立と私立が同じカリキュラムに基づいて教育を実践することができるのかという質問が出ていた。今後も講演会等を開催されると思うので、計画策定の経緯等について、より丁寧に説明をしていく必要があると感じた。

村上部長 カリキュラムの作成にあたっては、各就学前教育施設から先生方に来ていただいて、年齢毎にパートを分けて作業をしている。ビジョンを受けて

のカリキュラムであるため、十分に連携を取りながら同時に作業を進めている。機会を捉えて保護者に対する説明も行っていきたい。

川崎委員 前回の定例会で教育相談の内容について、不登校にかかるものが増加しているとお聞きした。学校訪問等で、行事には参加するけれど、毎日朝起きて学校に行くことが難しい子どもがいるという話を聞いた。色々勉強して起立性調節障害というものがあり、中学生でも増加傾向にあると知った。不登校の児童生徒は各学校に5, 6人ぐらいいるが、原因は様々ではっきりしないものもあると思う。しかし、例えば原因が心の病気だと分かれば対処できる。先生方が知識として持っていれば、朝起きて学校に来るのが難しい子どもがいたときに、もしかしたら起立性調節障害かもしれないと気付いて、必要な対処をすることができる。不登校の子どもたちはどのような症状が多いのか教えていただきたい。

廣重課長 様々な要因があり、状況も一人ひとり異なっているため、数だけでは語れない部分がある。川崎委員がおっしゃるように医療的なアプローチが必要な場合もあるし、そうでない場合もある。それぞれの児童生徒が必要とする支援をしていくためには実態把握が重要だと考えている。不登校のきっかけとして多いのは、家庭のこと、情緒的な混乱、気力がでない等がある。

川崎委員 個々に対応いただくことが大事だと思うのでよろしくお願ひしたい。

秋田委員 7-1ページの総合教育センターの11月行事実施報告について。21日(火)に池尻小学校で開催されたNIEグループ研究会の内容を教えてください。

尾崎主幹 グループ研究会は、先生方が自主的に立ち上げて研究していくもので、年間計画に沿って、各校の取組について情報交換を行ったり、実践発表を通じて指導のヒントを得るといったものである。今回は行事の準備やクラスの対応等で人数が集まらなかったように思う。

秋田委員 私は兵庫県NIE推進協議会の会長を務めている関係で、先日NIE推進協議会の事務局から池尻小学校でのNIEグループ研究授業の資料をもらった。指導案は、長い計画に沿って伸ばすべき力が段階的にはっきり記されており、非常に素晴らしかった。中心の先生は力のある20代の先生で、臨時講師だとお聞きした。臨時講師という点から継続性という点で難しいことが出てくると残念だと感じた。大学入学共通テストも基本的な知識や技能を基に、新聞やデータ等具体のものを読んで考え方をまとめたり、

解決のためにどう生かすかを考えたりさせる問題になっている。池尻小学校での研究を市内の小学校で共有して使っていただきたい。ちなみに、池尻小学校の取組は、次の兵庫県NIE推進協議会ニュースに掲載される予定である。

39ページの市高の11月行事実施報告について。修学旅行は非常にいい取組で、生徒に複数の視点を持たせていくのに適していると思った。教育委員会で情報を共有できることを有難く思う。

木下教育長 小学校での英語教育は、どのように授業時数を確保するのか。授業を受け持つのは担任か。

廣重課長 全国で来年度からプラス15時間の取組が始まる。5, 6年生は現行の35時間から50時間に、3, 4年生は現行0時間から15時間になる。本来的な力を付けていくということを考えると、モジュール学習ではなく1時間ずつ取るのがよいと校長会でも話が出ている。

木下教育長 委員会のない水曜日の6校時をあてるというような話も出ていたように思う。

廣重課長 そのように進んでいる。新しく始まることなので、出来るだけ負担は軽く、しかし着実に進めていくよう計画を練っている。校長会でも総合的な学習の時間の重要性を認識されており、その時間とは別でという方向性で動いている。

授業は担任が受け持つ方向で、研修により内容を深めているところである。加えて、日本人英語指導補助員（JTE）や外国人英語指導助手（ALT）に支援に入ってもらい、発音等の部分的な補助をお願いする。

川崎委員 保護者に小学校英語教育導入の目的などをわかりやすく発信していただきたい。

廣重課長 12月発行の「すくすくぐんぐん伊丹っ子」に関連記事を掲載している。今後も機会を捉えて分かりやすく説明していきたい。

秋田委員 情報提供させていただく。兵庫県NIE推進協議会では花里小学校の吉本潤教諭にご協力いただき、英字新聞を用いたNIE授業展開について研究していただいている。2月1日（木）に県下の先生方対象に研究発表をしていただく。英語に親しませるところや何のためにというところに役立たせることができると思う。伊丹市の先生方も参加してもらいたい。また、吉本先生に続いて研究に取り組む方が出てきてほしいと願っている。

(5) 閉会宣言

木下教育長（午後4時00分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子